

なかつがわ全市景気ウォッチャー調査

〈市内の景気の動向を接客や取引を通じて肌で感じている人たちによる客観的な景況感調査〉

平成23年3月調査結果

現在の景気の現状判断は、1月より8.0%ポイント悪化の20.2%ポイントと、前年1月以来の非常に厳しい判断となっています。

次に1年前と比べた場合の景気の前年判断では、1月と比べ18.4%ポイント悪化し19.5%ポイントとなっています。

また、3ヶ月前と比べた場合の景気の現状判断では、1月と比べ12.6%ポイント悪化し19.5%ポイントとなっています。

3～6ヶ月先の景気の先行き判断では、1月と比べ20.9%ポイント悪化し20.8%ポイントという予想となっています。

◎全体的には、東日本大震災の影響により消費の低迷や生産量の低下につながったものと考えられます。

雇用については、震災の影響により回復傾向から悪化に転じたものと思われま
す。また、景気は、踊り場入りの状況から悪化に転じたものと思われま
す。

平成23年4月6日

なかつがわ全市緊急経済対策本部

調査の概要

○調査の目的

市内の景気の動向に関連のある人々の協力を得て、市内の景気動向を的確かつ迅速に把握し、景気動向判断の基礎資料とする。

○調査の対象

- 1 対象地域 市内全域
- 2 調査客体
家計動向、雇用等の代表的な経済活動に携わる、さまざまな業種の方々、45名

○調査事項

- 1 景気の現状に対する判断（方向性）
- 2 1の理由
- 3 2の追加説明及び具体的状況の説明
- 4 景気の先行きに対する判断（方向性）
- 5 4の理由

○調査の時期

調査は隔月、当月時点で、調査期間は毎月25日から月末まで(今回は4月5日まで)

○有効回答率

80.0% 有効回答客体 36名

○判断方法

日本銀行で発表している「主要(全国)企業短期経済観測調査」いわゆる「日銀短観」や内閣府で発表している「景気動向指数」に使われている経済指数をディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)略して「DI」といいます。

「DI」には、「日銀短観」で使われる単純に3つの選択肢、たとえば「良い」、「変わらない」、「悪い」を用意し、回答から%を求め「良い」の%から「悪い」の%を引いた指数(%ポイント)が0を境に0以上になれば景気回復、0以下になれば景気後退を示す方法と「景気動向指数」のように3つ以上の選択肢を用意し、その選択肢に均等に0~1の評価点を与え、それぞれの回答から%を求めそれぞれの評価点を乗じたものの合計を指数(%ポイント)として50を境に50以上になれば景気回復、50以下になれば景気後退を示す方法の二つが主に使われています。

前者に比べ後者の方が選択肢が幅広くなり、より正確な指数を得ることができます。

今回の調査は、選択肢を5つ用意していますので、「景気動向指数」と同じ後者の方法で判断するものとします。

1 DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
評価点	1	0.75	0.5	0.25	0

2 D I 値について

D I 値が 5 0 の場合は横ばいを示し、0 に近づくほど景気後退傾向、逆に 1 0 0 に 近づくほど景気回復傾向であることを示す。

1 0 0 ← 5 0 → 0
 良くなっている 変わらない 悪くなっている

例えば

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	
調査結果	8	9	9	10	9	
構成比 (%)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0	
各 D I 値	17.8	15	10	5.6	0	
D I 値 (合計)	48.4			⇒	ほんの少し景気が後退している	

となります。

調査の結果

1 現在の景気の現状判断

現在の景気の現状判断としては、1月より8.0%ポイント悪化の20.2%ポイントと、前年1月以来の非常に厳しい判断となっています。

内訳では、家計動向関連の小売関連で8.9%ポイント悪化し14.3%ポイント、飲食観光関連で11.0%ポイント悪化し18.2%ポイント、サービス関連は25.0%ポイントと横ばいではあるが非常に厳しい判断となっています。

また、雇用関連では、1月より7.2%ポイント悪化し32.1%ポイントと、厳しい状況が強まる判断となっています。

表1 3月構成比

	良い	やや良い	どちらとも言えない	やや悪い	悪い	未回答	D I 値
合計	0.0	2.8	25.0	22.2	50.0	0.0	20.2
家計動向関連	0.0	3.5	17.2	24.1	55.2	0.0	17.3
小売関連	0.0	0.0	14.3	28.6	57.1	0.0	14.3
飲食観光関連	0.0	9.1	9.1	27.3	54.5	0.0	18.2
サービス関連	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	25.0
雇用関連	0.0	0.0	57.1	14.3	28.6	0.0	32.1

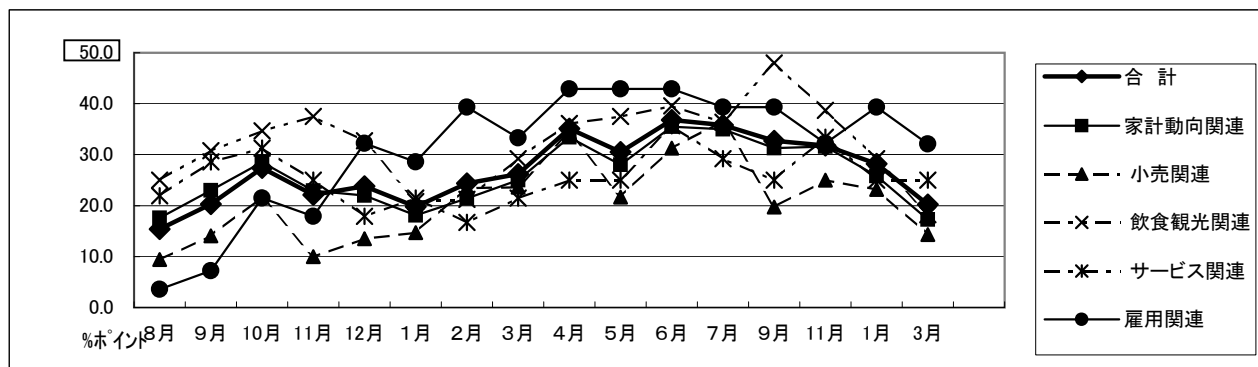
※「未回答」は、「どちらとも言えない」に見なしてD I 値を計算

表2 毎月の構成比

年	月	良い	やや良い	どちらとも言えない	やや悪い	悪い	未回答	D I 値
2010	6	0.0	15.8	36.8	26.3	21.1	0.0	36.8
	7	0.0	10.8	37.9	35.1	16.2	0.0	35.8
	9	5.1	5.1	18.0	59.0	12.8	0.0	32.7
	11	2.7	2.7	32.5	43.2	18.9	0.0	31.8
2011	1	0.0	5.1	28.2	41.0	25.7	0.0	28.2
	3	0.0	2.8	25.0	22.2	50.0	0.0	20.2
(前月差)		(0.0)	(-2.3)	(-3.2)	(-18.8)	(24.3)	(0.0)	(-8.0)

表3 D I 値の推移

	2010年				2011年			(前月差)
	6月	7月	9月	11月	1月	3月		
合計	36.8	35.8	32.7	31.8	28.2	20.2	(-8.0)	
家計動向関連	35.5	35.0	31.3	31.6	25.8	17.3	(-8.5)	
小売関連	31.3	36.6	19.7	25.0	23.2	14.3	(-8.9)	
飲食観光関連	39.6	36.4	48.0	38.7	29.2	18.2	(-11.0)	
サービス関連	35.7	29.2	25.0	33.4	25.0	25.0	(0.0)	
雇用関連	42.9	39.3	39.3	32.2	39.3	32.1	(-7.2)	



2-1 1年前と比べた場合の景気の現状判断

1年前と比べた場合は、1月に比べ18.4%悪化の19.5%と、非常に厳しい状況が続く判断となっています。

内訳は、家計動向関連の小売関連で21.4%と悪化し12.5%、飲食観光関連は17.2%と悪化し18.2%、サービス関連も14.6%と悪化し18.8%とすべて厳しい判断となっています。

また、雇用関連は、1月より17.9%悪化し35.7%と、急激な景気の悪化を示す判断となっています。

表1 3月構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている	未回答	D I 値
合計	0.0	5.6	11.1	38.9	44.4	0.0	19.5
家計動向関連	0.0	0.0	10.3	41.4	48.3	0.0	15.5
小売関連	0.0	0.0	7.2	35.7	57.1	0.0	12.5
飲食観光関連	0.0	0.0	9.1	54.5	36.4	0.0	18.2
サービス関連	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	18.8
雇用関連	0.0	28.6	14.2	28.6	28.6	0.0	35.7

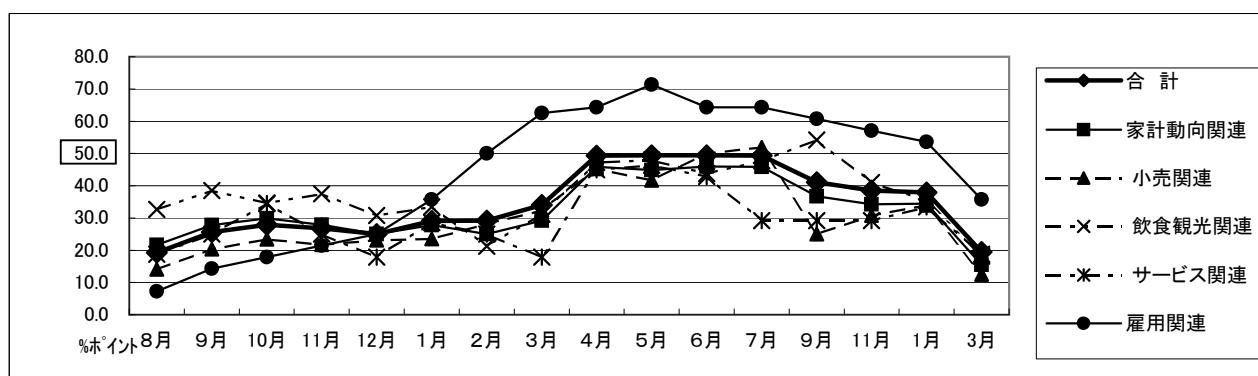
※「未回答」は、「変わらない」に見なしてD I 値を計算

表2 毎月の構成比

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている	未回答	D I 値
2010	6	2.6	36.9	26.3	23.7	10.5	0.0	49.4
	7	0.0	35.1	37.9	16.2	10.8	0.0	49.3
	9	7.7	10.3	38.5	25.6	17.9	0.0	41.1
	11	2.7	16.2	27.0	40.5	13.5	0.0	38.5
2011	1	0.0	18.0	33.3	30.8	17.9	0.0	37.9
	3	0.0	5.6	11.1	38.9	44.4	0.0	19.5
(前月差)		(0.0)	(-12.4)	(-22.2)	(8.1)	(26.5)	(0.0)	(-18.4)

表3 D I 値の推移

	2010年			2011年			(前月差)
	6月	7月	9月	11月	1月	3月	
合計	49.4	49.3	41.1	38.5	37.9	19.5	(-18.4)
家計動向関連	46.0	45.9	36.7	34.2	34.4	15.5	(-18.9)
小売関連	50.0	51.9	25.0	30.8	33.9	12.5	(-21.4)
飲食観光関連	43.8	47.7	54.2	41.0	35.4	18.2	(-17.2)
サービス関連	42.9	29.2	29.2	29.2	33.4	18.8	(-14.6)
雇用関連	64.3	64.3	60.7	57.1	53.6	35.7	(-17.9)



2-2-1 3ヶ月前と比べた場合の景気の現状判断

3ヶ月前と比べた場合は、1月に比べ12.6%悪化の19.5%と、急激に厳しさが増す判断となっています。

内訳は、家計動向関連のサービス関連で6.3%と改善し31.3%、飲食観光関連は25.0%と横ばいではあるが、小売関連で17.9%悪化し12.5%と大幅に下げ、非常に厳しい状況に戻る判断となっています。

また、雇用関連は、1月より35.7%と急激に悪化し17.9%と、非常に厳しさが増す判断となっています。

表1 3月構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている	未回答	D I 値
合計	2.8	0.0	16.7	33.3	47.2	0.0	19.5
家計動向関連	3.5	0.0	17.2	31.0	48.3	0.0	19.9
小売関連	0.0	0.0	14.3	21.4	64.3	0.0	12.5
飲食観光関連	9.1	0.0	9.1	45.4	36.4	0.0	25.0
サービス関連	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	31.3
雇用関連	0.0	0.0	14.3	42.9	42.9	0.0	17.9

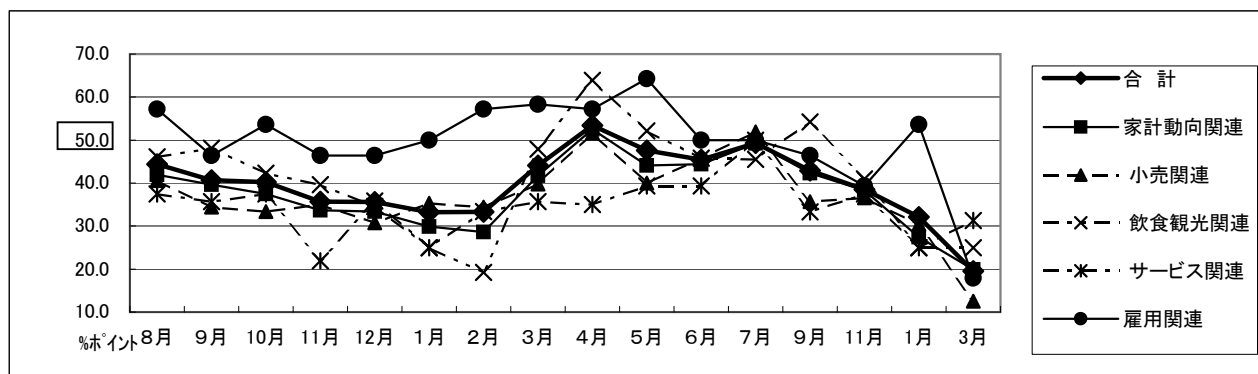
※「未回答」は、「変わらない」に見なしてD I 値を計算

表2 毎月の構成比

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている	未回答	D I 値
2010	6	2.6	21.1	44.7	18.4	13.2	0.0	45.4
	7	2.7	13.5	67.6	10.8	5.4	0.0	49.3
	9	5.4	5.4	51.4	29.7	8.1	0.0	42.6
	11	0.0	10.8	45.9	29.7	13.5	0.0	38.5
2011	1	0.0	5.2	41.0	25.6	25.6	2.6	32.1
	3	2.8	0.0	16.7	33.3	47.2	0.0	19.5
(前月差)		(-2.8)	(-5.2)	(-24.3)	(-7.7)	(-21.6)	(-2.6)	(-12.6)

表3 D I 値の推移

	2010年				2011年			(前月差)
	6月	7月	9月	11月	1月	3月		
合計	45.4	49.3	42.9	38.5	32.1	19.5	(-12.6)	
家計動向関連	44.4	49.2	42.3	38.3	27.4	19.9	(-7.5)	
小売関連	45.8	51.9	35.7	36.6	30.4	12.5	(-17.9)	
飲食観光関連	45.8	45.5	54.2	41.0	25.0	25.0	(0.0)	
サービス関連	39.3	50.0	33.3	37.5	25.0	31.3	(6.3)	
雇用関連	50.0	50.0	46.4	39.3	53.6	17.9	(-35.7)	



2-2-2 3ヶ月前と比べた場合の景気の判断理由

判断の理由として家計動向関連の小売関連では、東日本大震災の影響による販売量の落ち込みや延び悩みなどから「来客数の動き」が50.0%、「お客様の様子」が57.1%と多くなっています。

飲食観光関連では、東日本大震災の影響による来客数の減少から「来客数の動き」が81.8%と高くなっています。

サービス業関連でも、東日本大震災の影響による来客数の減少から「お客様の様子」が100.0%と高くなっています。

次に、雇用関連では、東日本大震災による雇用情勢の悪化などから「求人数の動き」が42.9%、「周辺企業の様子」が57.1%と高くなっています。

	①来客数の動き	②販売量の動き	③単価の動き	④お客様の様子	⑤競争相手の様子	⑥それ以外
家計動向関連	55.2	13.8	24.1	48.3	10.3	13.8
小売関連	50.0	21.4	28.6	57.1	14.3	14.3
飲食観光関連	81.8	9.1	27.3	18.2	9.1	18.2
サービス関連	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

	①求人数の動き	②求職者数の動き	③採用者数の動き	④雇用形態の様子	⑤周辺企業の様子	⑥それ以外
雇用関連	42.9	14.3	14.3	14.3	57.1	14.3

※複数回答による割合

3 3～6ヶ月先の景気の先行き判断

景気の先行きについては、東日本大震災の影響が大きく1月より20.9%悪化して、20.8%と非常に厳しい状況になる予想となっています。

内訳は、小売関連は14.3%悪化を見込み17.9%、飲食観光関連で22.5%の悪化を見込み29.6%、サービス関連も18.7%の悪化を見込み18.8%と非常に厳しい予想となっています。

また、雇用関連では、1月に比べ32.1%と大幅に下げて14.3%ときわめて厳しい予想となっています。

表1 3月構成比

	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	未回答	D I 値
合計	0.0	11.1	13.9	22.2	52.8	0.0	20.8
家計動向関連	0.0	13.8	13.8	20.7	51.7	0.0	22.4
小売関連	0.0	14.3	7.1	14.3	64.3	0.0	17.9
飲食観光関連	0.0	18.2	18.2	27.3	36.4	0.0	29.6
サービス関連	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	18.8
雇用関連	0.0	0.0	14.3	28.6	57.1	0.0	14.3

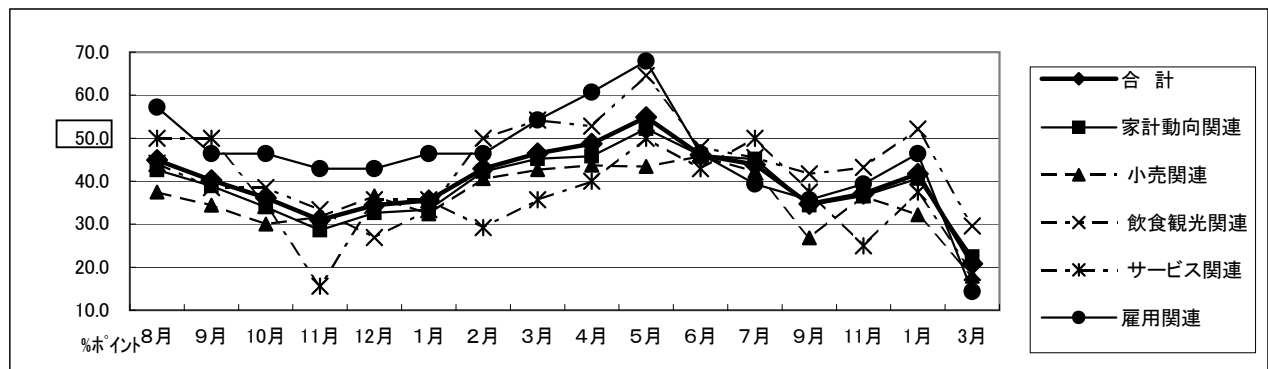
※「未回答」は、「変わらない」に見なしてD I 値を計算

表2 毎月の構成比

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	未回答	D I 値
2010	6	2.6	21.1	44.7	21.1	10.5	0.0	46.1
	7	2.7	13.5	51.4	21.6	10.8	0.0	43.9
	9	0.0	7.7	38.5	38.5	15.3	0.0	34.7
2011	1	0.0	10.8	40.5	29.7	16.2	2.7	37.1
	3	5.1	15.4	33.3	28.2	15.4	2.6	41.7
	(前月差)	0.0	11.1	13.9	22.2	52.8	0.0	20.8
	(前月差)	(-5.1)	(-4.3)	(-19.4)	(-6.0)	(37.4)	(-2.6)	(-20.9)

表3 D I 値の推移

	2010年				2011年		(前月差)
	6月	7月	9月	11月	1月	3月	
合計	46.1	43.9	34.7	37.1	41.7	20.8	(-20.9)
家計動向関連	46.0	45.1	34.4	36.6	40.6	22.4	(-18.2)
小売関連	45.8	42.3	26.8	36.6	32.2	17.9	(-14.3)
飲食観光関連	47.9	45.5	41.7	43.2	52.1	29.6	(-22.5)
サービス関連	42.9	50.0	37.5	25.0	37.5	18.8	(-18.7)
雇用関連	46.4	39.3	35.7	39.3	46.4	14.3	(-32.1)



景気の現状判断の理由

分野	景気判断		調査対象	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
	3ヶ月前	1年前				
家計動向関連	良くなっている	やや悪くなっている	観光案内所	来客数の動き	・東日本大震災によって観光客が激減し周囲の雰囲気も暗くなりがちでした。	
	変わらない	変わらない	小売店	来客数の動き	・来客数を見ますと景気が良くなったという動きが感じられない。	
			道の駅	来客数の動きとお客様の様子	・やや動きが少ないように感じます。	
			美容室	お客様の様子	・地震の影響ではないか。	
		やや悪くなっている	商店街関係者	お客様の様子	・慎重なお買物が目につきます。震災の影響もあるのでしょうか。	
		悪くなっている	タクシー運転手	お客様の様子	・景気が悪いとしか言えません。お客様も相変わらず少ないです。	
	やや悪くなっている	やや悪くなっている	小売店	お客様の様子	・東日本大震災の影響が思ったより大きい。	
			小売店	お客様の様子と景気の冷え込み	・災害や原発の影響。	
			小売店	単価の動き	・安い物しか売れない。	
			レストラン	来客数の動きとお客様の様子	—	
			レストラン	来客数と単価の動きお客様の様子	・3月11日の東日本大震災以降、客足が伸びません。3月26日～28日には恒例の周年イベント、感謝祭を開催しましたが過去最低の来場者でした。	
			スナック	来客数の動きと災害	・災害の為、自粛しているようで、来客数が少ないようです。	
			旅館	来客数、単価の動き	・失業による資金貸付相談が減らない。	
			ホテル	来客数の動き	・東日本の地震により、宿泊、宴会のキャンセルが相次いだ。	
			金融機関	お客様の様子	・地震災害から、企業・建築業者より材料が入らないと仕事量、生産量が減少すると懸念があり、今後、景気の悪化が予想されると言ってみました。	
			悪くなっている	やや悪くなっている	小売店	来客数、販売量の動きとお客様の様子
	悪くなっている	商店街関係者			災害	—
	商店街関係者	来客数の動き			・売出ししても売上が上がらない。	
	小売店	来客数と単価の動きお客様の様子			・将来への不安。	
小売店	お客様の様子	・必要最小限の買い物が目につく。				
小売店	来客数、販売量、単価の動きと競争相手の様子	—				
スーパー	お客様の様子	・災害や原発の影響。				
スーパー	来客数、単価の動きとお客様の様子	・必要最小限の買い物が目につく。				

			自動車販売	来客数、販売量の動きと競争相手の様子	・前年比3月までの売上実績3割減。
			道の駅	来客数の動き	－
			居酒屋	来客数の動きと競争相手の様子	・自分の店がヒマな時、他店を車から店内をうかがう時がよくあるけど、年々ヒマになりつつあるなど実感している。
			旅館	来客数と販売量の動き	・震災にて、海外・関東圏キャンセル 地元も自粛で、キャンセル有り。
			旅行代理店	販売量の動き	・地震により旅行のキャンセルが相ついでいる。一時期は申込の電話よりキャンセルがらみの電話の方が多かった。
			タクシー運転手	お客様の様子	・観光客の減少。
雇用 関 連	変わらない	変わらない	学校就職担当	求人数の動き	・来年度の求人について2月に回答のあった企業からは大半が本年度と同様の求人を出す予定のようです。
	やや悪くなっている	やや良くなっている	労働金庫	採用者数の動きと大震災の影響	・一部の宅建業者では建設に関わる資材の調達が震災の影響で困難な状況になっている。そのため着工等が遅れている事象が発生している。将来的にも資材が調達困難なことが予想されるため経営にあたる影響に不安感がある。
			労働相談所	求人数と求職者数の動き	・ハローワーク中津川の有効求人倍率12月：1.02 1月：1.01 2月：0.98 ⇒県下で最も高いが少し下がってきた。
	悪くなっている	やや悪くなっている	職業安定所	求人数の動きと周辺企業の様子	・前月と比べ新規求人数の大幅減が見込れる。特に震災後は求人が鈍っている。自動車関連企業において、震災による自動車メーカーの生産中止が大きな影響をあたえている。
		悪くなっている	自治体労働政策担当	周辺企業の様子	・自動車関連企業を中心に震災の影響が出はじめている。受注の減少による生産調整が見られる。
			学校就職担当	周辺企業の様子	・東北・関東大震災により、部分の調達ができない企業が少なからずあり、仕事が減っているように思われる。ガソリンなど石油製品の値上げ。
			人材派遣会社	雇用形態、周辺企業の様子	・震災の影響で自動車部品の工場では、一部休業状況・操業停止が続いており、雇用情勢が急激に悪化。

景気の先行き判断の理由

分野	景気の判断	調査対象	追加説明及び具体的状況の説明
家 計 動 向 関 連	やや良くなる	商店街関係者	・日本の置かれているさまざまな状況を考えますと、日本の危機ともいえますが、皆で盛り上げ景気回復させたいです。
		小売店	・春から夏にかけての人の動きが特に観光客の動きが出てくるのではないかと期待感もあり、今の現状からすればやや良くなると思います。
		道の駅	・集客イベント、地元還元のポイント発行を実施するので。
		観光案内所	・復興に向けての力が影響して来る気がします。
	変わらない	自動車販売	・経済にとってマイナス要因が加わり、新車の生産や中古車のオークション取引にも大きな影響があり、商売に支障が出てきている。
		道の駅	—
		旅館	—
		金融機関	・良くなる要因がない。
	やや悪くなる	小売店	・原発事故の方向が好転しないと。
		小売店	—
		レストラン	・震災の影響が波及すると思います。
		スナック	・これから、災害のしわ寄せが来て、会社も部品がない為、動かない所もあり、来客が少なくなる気がします。でも、日本中の人々が協力し、元気な日本を取り戻せなくてはならないと思います。私達の出来る事は少しでもやっていきたいと思います。
		ホテル	—
美容室		・震災の影響で慎むのではないかと。	
悪くなる	商店街関係者	・政治不信、消費の冷え込み。	
	商店街関係者	・震災の影響があると思います。	
	小売店	・人口減少で時代の流れが変わる中、今回の件でダブルパンチとなる。	
	小売店	・大地震。	
	小売店	・地域経済の衰退。	
	小売店	—	
	小売店	・大震災の影響により商品が入ってこない。	
	スーパー	・政府の震災及び景気対策への不安から、一層消費が冷え込みそうです。	
	スーパー	—	
	レストラン	・4月予定のイベントの多くが中止。朝晩がまだまだ寒い。	

		居酒屋	・送迎の迎えだけを止める事にしたので、この先それで影響が出るような気がする。実際「悪いけど、他にするわ」というお客様がいたから。
		旅館	・震災後遺症と食材の値上がり。
		旅行代理店	・今はお金を使って遊びに行こうという気持ちになれない人の方が多いと思う。仕事がないから給料も少ない。日々の生活費だけで余裕はないと思います。
		タクシー運転手	・地震の関係で自粛する人が増えてくる。
		タクシー運転手	・東日本大震災の影響が心配です。
雇 用 関 連	変わらない	学校就職担当	・震災が復興しないかぎり当面、景気は停滞すると思う。
	やや悪くなる	労働金庫	・大震災の影響で多くの国内企業ではこれから夏場に向けて電力不足等により生産性が低下することが予想される。その影響でこの地方でも大きな影響が出てくる可能性があると考えます。
		学校就職担当	・地元企業でも、震災の影響でここ一週間稼動していない所もある。
	悪くなる	職業安定所	・震災の影響による雇用失業情勢の悪化が懸念される。
		人材派遣会社	・①景気の先行きについては予測不可能。客先でも悲観的な材料が多く長期化するとの懸念が大半。②雇用の面では、休業等含めて更に悪くなると思われる。
		労働相談所	・大震災による経済活動の低下により、あきらかに悪くなる自粛ムードをあおるのはよくない。経済を活発にしないと復興できない。
	自治体労働政策担当	・部分品や原材料の納品遅れが続き、生産調整が本格的に進んでくると思われる。	